

平成28年度第2回教育研究評議会議事要旨

日時 平成28年5月11日（水）15時52分～16時08分

場所 第1会議室

出席者 22名

和田学長，江頭理事（総務・財務担当副学長），
鈴木理事（教育担当副学長），近藤副学長，
高橋評議員（保健管理センター所長），尾形評議員（言語センター長），
深田評議員（CGS教育支援部門長），船津評議員（CGSグローバル教育部門長），
李評議員（CGS産学官連携推進部門長），穴沢評議員（国際連携本部長），
中島評議員（経済学科長），中浜評議員（商学科長），
石黒評議員（企業法学科長），加地評議員（社会情報学科長），
沼田評議員（一般教育系学科主任），金評議員（現代商学専攻長），
玉井評議員（アントレプレナーシップ専攻長），廣瀬評議員（経済学科教授），
小倉評議員（企業法学科教授），佐山評議員（社会情報学科教授），
中村評議員（一般教育系教授），副島評議員（言語センター教授）

公欠者 2名

高宮城評議員（商学科教授），小林評議員（アントレプレナーシップ専攻教授）

欠席者 1名

平沢評議員（情報処理センター長）

議事に先立ち，事前に配付している前回（4月13日）開催の平成28年度第1回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について

和田学長から，本学の学長選考会議学内委員3名のうち2名，石黒匡人委員と杉山成委員の任期が平成28年3月31日をもって満了したため，後任の委員について，本学組織・運営規程第4条第2号の規定に基づき，本会議から2名を選出したい旨提案があった。

なお，金鎔基委員については，現委員であり平成29年3月31日までの任期であるため，今回は選出の対象外となり，また，委員の任期は，学長選考会議規程により教育研究評議会評議員の任期と同一となる旨発言があった。

その後，和田学長から，委員の選出方法については，従前どおり投票によることとし，以下の方法で行いたい旨提案があり，了承された。

○学長選考会議委員の選考方法

1. 単記無記名投票により，得票上位の者2名を学長選考会議委員として選出する。
2. 得票が同数の場合は，得票同数の者についての再投票を行う。
3. 再投票を行った結果，再度，得票が同数になった場合は，年長者を委員として選出する。
4. 開票の立会いについては，尾形言語センター長に依頼する。

引き続き、投票が行われ、開票の結果、得票上位者3名が得票同数であったため、穴沢評議員、石黒評議員、加地評議員による再投票が行われた。再投票の開票の結果、得票多数の穴沢評議員、加地評議員が学長選考会議委員として選出された。

その後、穴沢評議員、加地評議員に就任の承諾が確認された。

議題2. 小樽商科大学学生委員会規程の一部改正（案）について

和田学長から、審議資料2に基づき、小樽商科大学学生委員会規程の一部改正（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、5月30日開催予定の役員会に附議する旨発言があった。

報告事項1. 平成28年6月期勤勉手当における評価基軸について

和田学長から、報告資料1に基づき、平成28年6月期勤勉手当における評価基軸について報告があった。

次回の開催日程等

次回の教育研究評議会は、6月15日（水）現代商学専攻教授会終了後に開催する予定である。

以 上